



# 報 告 書

平成21年4月1日～平成22年3月31日



特種東海ホールディングス株式会社

TOKUSHU TOKAI HOLDINGS CO., LTD.





平成22年6月

代表取締役社長 **三澤 清利**

株主の皆様におかれましては、平素より当社に対しまして格別のご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

ここに、当社第3期（平成21年4月1日から平成22年3月31日まで）の報告書をお手許にお届け申し上げます。

さて、このたび特種東海ホールディングス株式会社は、平成22年4月1日付けで100%子会社である特種製紙株式会社および東海パルプ株式会社を吸収合併し、両社の権利義務の一切を承継するとともに、両子会社は発展的に解散いたしました。

当社は、特種製紙株式会社と東海パルプ株式会社の経営統合により平成19年4月2日に共同持株会社として設立いたしました。それから約3年が経過し、両社の長年に亘って築かれた歴史や文化を互いに尊重し合える環境も整ってまいりました。今般の合併により、人材や組織、技術やネットワーク、経営者や従業員の意識や考え方などといった経営基盤を、さらに強固に結び深化させ、独自性・独創性のある製紙メーカーとして進化を図るとともに、急速に変化する外部環境に対応して機動的かつ迅速な意思決定を行える体制構築を図る所存です。

当社は「ユニークで存在感のある企業集団として、社会と環境に貢献する」の経営理念のもと、さらなる企業価値の向上と新たなステージでの真の変革を目指してまいります。

また、特種東海ホールディングス株式会社は、本年4月1日より「特種東海製紙」を通称として使用してまいりましたが、本年7月1日より「特種東海製紙株式会社」に商号変更し、社員一同気持ちを新たに社業の発展に邁進いたす所存でございます。

株主の皆様には今後とも、より一層のご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

**Q** 平成22年3月期の業績を総括してください。

**A** 国内経済では、輸出産業を中心に一部では持ち直しの兆しが見られましたが、米国から発した金融危機による景気後退の影響からは脱しきれず、設備投資は抑制され、雇用情勢の悪化が続くなど、依然として先行き不透明な状況でした。

紙パルプ業界におきましても、国内景気の低迷を背景に、紙需要は依然低調に推移し減産を継続するなど、経営環境は厳しい状況となりました。

このような状況の中で、当社グループは、原価低減活動や固定費削減、生産効率の改善などを推進し、収益の確保に取り組みました。

この結果、当連結会計年度の業績は、売上高が78,063百万円（前期比8.3%減）、利益面では、労務費を含む各種経費の削減に加えて、生産効率の改善効果もあり、営業利益4,331百万円（前期比587.9%増）、経常利益は4,012百万円（前期は183百万円の経常利益）、当期純利益は1,792百万円（前期は119百万円の当期純利益）となりました。



**Q** 合併後の組織体制についてお聞かせください。

**A** 新会社では産業用紙、特殊紙、家庭紙と3つの事業分野に大別した事業グループ制を導入しました。段ボール・クラフトを中心とした「産業素材事業グループ」、ファンシーペーパー・高級印刷用紙・機能紙を中心とした「特殊素材事業グループ」、ペーパータオル・トイレットペーパーを主体とした「生活商品事業グループ」の3事業グループ体制としました。さらに、会社の成長発展の追求と環境事業の強化を図るため「事業推進センター」を新設しました。今後、各事業グループが積極的な事業展開と変革を起こすことにより、企業価値の向上に繋がると考えています。

**Q** 特殊紙事業の海外展開についてお聞かせください。

**A** 韓国・中国や台湾などの東アジアを中心に、一部ユーロ地域など各国に営業活動を展開しています。特に台湾では台北事務所を設置し、家電メーカーや半導体企業への営業活動を展開しています。

中国やタイ、インドネシア、欧米などからの引き合いも徐々に増加してきており、収益に大きく貢献するまでには至っておりませんが取引数量も徐々に増加を示し、今後に大きな手ごたえを感じています。

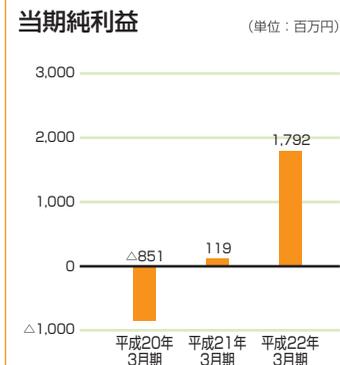
例えば、中性紙で調湿性があり、貴重な古文書や美術品などを保護する保存箱や間紙、封筒などに使われている保護紙は、中国の国立図書館等からも興味をいただいております。技術的難度の高いオンリーワン商品は海外でも十分通用するという確信を深めて積極的に推進しております。

**Q** 株主還元の考え方と今後の方針についてお聞かせください。

**A** 当社は、株主の皆様へ安定した配当を継続して実施することを、経営の基本に据えております。併せて、大きな変革が進む当業界にあつて、企業価値をより一層高めるために、将来の事業展開に備えた内部留保も重要課題と位置付け、バランスの取れた利益配分を志向してまいります。

## 連結財務ハイライト

	平成20年3月期	平成21年3月期	平成22年3月期
<b>【経営成績】</b>			
売上高 (百万円)	87,332	85,117	78,063
営業利益 (百万円)	439	629	4,331
経常利益 (百万円)	179	183	4,012
当期純利益又は当期純損失 (△) (百万円)	△851	119	1,792
1株当たり当期純利益又は当期純損失 (△) (円)	△5.36	0.74	11.26
自己資本当期純利益率 (%)	△1.4	0.2	3.0
総資産経常利益率 (%)	0.1	0.1	3.0
売上高営業利益率 (%)	0.5	0.7	5.5
<b>【財務状況】</b>			
純資産 (百万円)	61,985	58,431	59,978
総資産 (百万円)	136,311	133,116	131,355
自己資本比率 (%)	45.4	43.7	45.5
<b>【キャッシュ・フロー状況】</b>			
営業活動によるキャッシュ・フロー (百万円)	6,608	4,923	8,402
投資活動によるキャッシュ・フロー (百万円)	△8,977	△6,838	△4,424
財務活動によるキャッシュ・フロー (百万円)	2,376	7,117	△2,794
現金及び現金同等物期末残高 (百万円)	3,744	8,932	10,108



## 連結貸借対照表(要旨)

(単位：百万円)

科目	当連結会計年度 (平成22年3月31日現在)	前連結会計年度 (平成21年3月31日現在)
<b>(資産の部)</b>		
流動資産	44,316	41,606
固定資産	87,038	91,509
有形固定資産	71,195	75,124
無形固定資産	1,007	1,208
投資その他の資産	14,836	15,176
<b>① 資産合計</b>	<b>131,355</b>	<b>133,116</b>
<b>(負債の部)</b>		
流動負債	51,697	50,060
固定負債	19,679	24,624
<b>② 負債合計</b>	<b>71,377</b>	<b>74,684</b>
<b>(純資産の部)</b>		
資本金	11,485	11,485
資本剰余金	14,481	14,483
利益剰余金	34,381	33,546
自己株式	△1,146	△1,151
評価・換算差額等	499	△158
新株予約権	79	41
少数株主持分	197	184
<b>③ 純資産合計</b>	<b>59,978</b>	<b>58,431</b>
<b>負債及び純資産合計</b>	<b>131,355</b>	<b>133,116</b>

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

### Point

- 当連結会計年度末の総資産は、131,355百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,760百万円の減少となりました。主な要因は、有形固定資産の減価償却によるものです。
- 負債は、71,377百万円となり、前連結会計年度末に比べ3,307百万円の減少となりました。主な要因は、長期借入金及び買掛金の減少によるものです。
- 純資産は、59,978百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,546百万円の増加となりました。主な要因は、利益剰余金及びその他有価証券評価差額金の増加によるものです。また、自己資本比率は45.5%となりました。

## 連結損益計算書(要旨)

(単位：百万円)

科目	当連結会計年度 (平成21年4月1日から 平成22年3月31日まで)	前連結会計年度 (平成20年4月1日から 平成21年3月31日まで)
<b>④ 売上高</b>	<b>78,063</b>	<b>85,117</b>
売上原価	61,365	71,363
売上総利益	16,698	13,754
販売費及び一般管理費	12,367	13,125
営業利益	4,331	629
営業外収益	655	706
営業外費用	974	1,153
経常利益	4,012	183
<b>⑤ 特別利益</b>	<b>201</b>	<b>1,565</b>
<b>⑥ 特別損失</b>	<b>1,080</b>	<b>1,866</b>
税金等調整前当期純利益又は損失(△)	3,133	△118
法人税、住民税及び事業税	713	299
法人税等調整額	638	△582
少数株主利益又は少数株主損失(△)	△11	44
<b>当期純利益</b>	<b>1,792</b>	<b>119</b>

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

## 配当に関する事項

基準日が当期に属する配当のうち、配当の効力発生日が翌期となるもの

決議	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	配当の原資	一株当たり配当額 (円)	基準日	効力発生日
平成22年6月24日 定時株主総会	普通株式	397	資本剰余金	2.5	平成22年3月31日	平成22年6月25日

### Point

- セグメント別の売上高は、製紙事業が61,435百万円(前期比9.1%減)、加工事業が14,264百万円(前期比4.0%減)、環境事業が2,364百万円(前期比10.4%減)となりました。
- 特別利益201百万円の主な要因は土地売却等による固定資産売却益157百万円です。
- 特別損失の主な内訳は投資有価証券評価損733百万円、固定資産除却損112百万円があります。

## ●グループ会社の再編

### 株式会社テクノサポート

平成22年1月1日に設備保全、重油・産廃運搬業務を主としていた(株)テック東海が構内作業を主として工場構内機能会社であった東海物流システム(株)を吸収合併いたしました。

社名も「(株)テクノサポート」と変更し、機能会社の集約により業務効率の向上を図ります。

本社所在地：静岡県島田市向島4379

事業内容：島田工場等の構内作業業務、設備保全業務、重油・産廃運搬業務など

資本金：32百万円 株主構成：特種東海ホールディングス(株) 100%所有

### 静岡ロジスティクス株式会社

平成22年4月1日に特種ロジスティクス(株)が静岡物流(株)を吸収合併し、社名も静岡ロジスティクス(株)となりました。特種ロジスティクス(株)は倉庫業を主たる事業とし、その運輸・荷役を静岡物流(株)が担っておりましたが、本合併により物流機能の充実を図ります。

本社所在地：静岡県駿東郡長泉町南一色632-10

事業内容：運送業、倉庫業、保険代理業、リース業、酒類販売など

資本金：20百万円 株主構成：特種東海ホールディングス(株) 100%所有



構内作業風景



静岡ロジスティクス(株)トラック

## ●三島工場の屋上緑化

三島工場における緑地の増設と断熱効果による空調にかかるエネルギーコストの削減を目的として、工場建屋2棟の屋上2,759㎡を緑化いたしました。

緑化工事は弊社グループの(株)東海フォレストが行い、使用した植物はスナゴケ（ギボウシゴケ科の植物）で、日本の気候に適し、乾燥や害虫の影響に強く、灌水や薬剤散布が不要なため、ほぼメンテナンスフリーであり、ランニングコストも低減できるメリットがあります。



三島工場建屋屋上

## ●「紙わざ大賞 at Pam」の開催

当社の製品や特殊紙の技術を紹介する施設「Pam (Paper and material)」において平成21年11月20日～平成22年5月31日の期間、「紙わざ大賞 at Pam」を開催しました。「紙わざ大賞」とは静岡県島田市の「島田紙わざ探検隊」が企画する全国公募の紙を使ったアート作品のコンテストで、Pamでは数々の歴代優秀作品を展示し、お取引先のみならず多くの方々が見学されました。



作品展示の様様



## 会社概要 (平成22年4月1日現在)

社名	特種東海ホールディングス株式会社 Tokushu Tokai Holdings Co., Ltd.
通称	特種東海製紙
事業内容	紙パルプの製造・加工・販売および子会社の経営管理等
本社	東京都中央区八重洲2丁目4番1号
資本金	1,148,520万円
事業年度	4月1日から翌年の3月31日
上場証券取引所	東京証券取引所 市場第一部 (コード: 3708)
設立年月日	平成19年4月2日
本店所在地	静岡県島田市向島町4379番地

※平成22年7月1日より「特種東海製紙株式会社」に社名変更いたします。

## 役員 (平成22年6月24日現在)

代表取締役社長	三澤 清利
専務取締役	石橋 達彦
専務取締役	三浦 凡宗
専務取締役	三宅 博
常務取締役	池谷 修
常務取締役	梅原 淳
取締役	関根 常夫
取締役	大島 一宏
取締役 (社外取締役)	石川 達紘
常任監査役 (常勤監査役)	三谷 充弘
常勤監査役	網野 隆
監査役 (社外監査役)	大倉 喜彦
監査役 (社外監査役)	志賀 かず江

## 株主優待のご案内

### タウパーの送付について

日頃のご高配に少しでもお応えするとともに、当社および当社グループを一層ご理解いただきたいという思いから、株主さまご優待制度を実施しております。



タウパー・ポップペーパー

今ご優待品は、当社グループ会社の東海加工紙(株)で販売しております「タウパー・ポップペーパー (150枚入り) 12個」をお届けいたします。「タウパー・ポップペーパー」は安全面・衛生面に充分配慮したキッチンペーパーです。ご優待品は、7月下旬以降にお届けする予定でございますので、ご愛用いただければ幸いです。

## グループ企業 (平成22年4月1日現在)

会社名	主な事業
株式会社リソース東海	製紙原料の仕入・販売、製材品の仕入・販売
株式会社東海フォレスト	土木・造園緑化・山林事業、観光事業
株式会社レックス	一般廃棄物・産業廃棄物の収集、運搬、加工処理および売買
株式会社テクノサポート	構内作業業務、設備保全業務、重油・産廃運搬業務
大一コンテナ株式会社	段ボールケース・シートの製造販売
静岡ロジスティクス株式会社	運送業、倉庫業、保険代理業、リース業、酒類販売
特種紙商事株式会社	特殊機能紙・保護紙・画材用紙・エレクトロニクス関連用紙・加工品等の販売
特種メーテル株式会社	特殊紙、医療用機能性シート、緩衝・保護包装紙の製造・販売
東海加工紙株式会社	ペーパータオルなど各種業務用品の製造・販売、各種産業用資材の加工、販売
明治製紙株式会社	家庭紙 (トイレット、タオルペーパー) の製造販売

## 株主メモ

事業年度 4月1日から翌年3月31日まで

定時株主総会 6月

基準日 定時株主総会 3月31日  
期末配当金 3月31日  
中間配当金 9月30日

株主名簿管理人  
特別口座の口座管理機関 三菱UFJ信託銀行株式会社

同連絡先 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部  
〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号  
TEL 0120-232-711 (通話料無料、平日9:00~17:00)  
<http://www.tr.mufg.jp/daikou/>

( 上記は、特別口座に記録された株式に関する各種手続き先ならびに郵送物等の発送と返戻、支払期間経過後の配当金および株式事務に関する一般事項のご照会先となっております。ご登録住所等の変更手続きをされる場合は、お取引口座のある証券会社等へお問合せください。 )

同取次所 三菱UFJ信託銀行株式会社 全国各支店

公告方法 弊社ホームページ上に掲載  
<http://www.tt-paper.co.jp/ir/denshi.html>  
ただし、電子公告によることができない場合は、日本経済新聞に掲載

## 会社HP

ホームページご案内

<http://www.tt-paper.co.jp/>

特種東海ホールディングス株式会社  
TOKUSHU TOKAI HOLDINGS CO.,LTD.

[www.tt-paper.co.jp](http://www.tt-paper.co.jp)

表紙：小赤石岳からの荒川岳  
撮影：白旗史朗  
用紙：ミセスB-FSC認証  
スーパーホワイト